



公式マスコットキャラクター「むーくん」

武蔵野ふるさと歴史館 特集パネル展示

武蔵野の中世

—武蔵野合戦の古戦場を巡る—

令和3年2月14日(日) ~ 4月15日(木)

会 場 武蔵野ふるさと歴史館 第一展示室 特集展示コーナー

中世の武蔵野は、果てのない原野として和歌や文学作品に多く取り上げられています。この頃の武蔵野は大部分が原野であり、人々の生活があまり確認されていない一方で、多くの戦が繰り広げられた地でした。本展では、南北朝時代に鎌倉・府中・小金井・埼玉を舞台におこった武蔵野合戦について、戦場となった地を巡りながら紹介します。

①

②

③

④

武蔵野市立

武蔵野ふるさと歴史館

① 浅間山公園（府中市）

② 霞ノ関南木戸柵跡（多摩市）

③ 小手指原古戦場碑（所沢市）

④ 新田義貞公之像（府中市）

武蔵野の中世

—武蔵野合戦の古戦場を巡る—



おはようございます
むしゅん

宗良親王

新田義宗

新田義興

展示構成

① はじめに —中世武蔵野のすがた—

和歌をはじめとする文学作品に登場する武蔵野のすがたを紹介します。

② 南北朝時代と観応の擾乱

南北朝時代と、足利尊氏・高師直と足利直義が対立した観応の擾乱の概要を解説します。

③ 武蔵野合戦について

観応の擾乱の終結後、新田義貞遺児たちが挙兵して足利尊氏と衝突することとなりました。合戦は鎌倉から所沢までおよび、『太平記』ではこの合戦を「武蔵野合戦」と称しています。

④ 武蔵野合戦の古戦場を巡る

両陣は現在の稲城市と多摩市に陣営を構え府中市と小金井市で戦います。その後合戦は埼玉県へと移っていきます。『太平記』や古文書に記述される合戦の地を現在と照らし合わせながら紹介します。

⑤ おわりに —近代まで残る中世武蔵野のおもかげ—

近代文学作品を通して、近代まで残る武蔵野のすがたを考えます。

画像：菊池容斎『前賢故実』巻之十
国立国会図書館デジタルコレクション

令和2年度 第4回企画展

学校
教育連携
展示

武蔵野の暮らし、そのうつりかわり

令和3年1月16日(土)～4月22日(木)

開催中!!

会場 武蔵野ふるさと歴史館 第二展示室

明治22年(1889)4月1日に、武蔵野市の前身である「武蔵野村」が誕生しました。それから明治・大正・昭和・平成・令和と元号が変わり、市域の人々のくらしの様子もテクノロジーの発達などとともに、大きく変化していきます。本展では、それぞれの時代に使われていた道具、写真などを素材に、各時代の武蔵野市域のくらしの様子を紹介します。本展をきっかけに、「新しい生活様式」が求められている現在、そしてこれからのくらしについて考えていただけたら幸いです。



[HP] http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/shogaigakushu_koza/rekishikan/
[Facebook] <https://www.facebook.com/musashino.rekishikan/>
[Twitter] https://twitter.com/musashino_reki

●HP



●Facebook



●twitter



武蔵野市立 武蔵野ふるさと歴史館

開館時間 午前9時30分～午後5時 休館日 金曜・祝日・年末年始

〒180-0022 武蔵野市境5-15-5 Tel 0422-53-1811

E-mail: rekishikan@city.musashino.lg.jp

武蔵野駅より徒歩12分／ムーバス「武蔵野ふるさと歴史館」バス停下車すぐ／駐車場スペースはございません(高齢者・車椅子ご利用の方はご相談ください)

入場無料

